

## チャレンジドで学んだこと

活動先：NPO 法人 チャレンジド

クラス：石川 満 先生

### 1. はじめに

私は、今回夏にチャレンジドで活動させていただきました。活動の中で、いろいろなことがありました。その中で、印象に残った活動をいくつか紹介していきます。

### 2. 特に印象的だった活動

私が、活動した中で、印象に残っていることは、キャンプ（地引網とお泊り企画）と「ちやれっこクラブ」のかつどうです。

まず、キャンプの活動から、簡単に概要を説明して、その中のエピソードなどを説明します。

概要は、朝みんなで集まって、顔合わせを簡単にして、地引網をしました。その後、BBQをしました。最後に、お泊り企画に参加する人と BBQ まで参加する人とわかれていきました。

はじめは、ボランティアの方や親さんと子ども達は、緊張気味でした。しかし、次第に、慣れてきてみんなで楽しく進めることができました。面白かったのが、網をあげてから、魚を、かごに入れるときだったのですが、みんな怖がってはいたのですが、必死に魚を掴んでかごに入れる姿がとても新鮮だったことです。

BBQ は、なかなか焼けずに苦労して、子ども達が飽きてしまうことをありながらも、とれたての魚は、絶品でした。

子ども達は基本的に、海で遊んでいました。本当に元気で、学生やボランティアの人はついていくのが精一杯だった事が印象的でした。

しかし、今回の地引網での、反省がありました。それは、中学生が今回ボランティアとして来てくれたのですが、うまく子どもたちの引継ぎができず、子ども達と中学生の交流がうまくできなかったことです。自分たちもそのことは予想できずに、中学生のフォローもできなくて、バタバタしてしまいました。また、当日の役割分担など細かいことが決まっていなかったことも反省する点でした。

### 3. 活動を通しての気づき・成長

活動を通して感じたことは、利用者の方の親さんやその他関係者の方の協力の厚さをすごく感じました。自分たちは、時間もなく、スタッフの方との打ち合わせもうまくできた方ではなかったのに、当日来てくれた方がうまく私たちのフォローをしてくれて裏方に回ってくれるのでとてもスムーズに事が進めることができました。

また、今回いろいろなことを企画の段階から参加させていただき、私たちに任せていただいて、うまくできなくて失敗することも多かったのですが、そこから、企画するときの大変さや注意点などを身にしみて感じることができました。

例えば、子どもたちを、ゲームに参加させるには、ぱっぱとしてで、できるだけわかりやすく、待つ時間が少ないことが大切であるとか、打ち合わせは、全体と係りごとにした方がわかりやすいなど、よく考えればわかることだが、なかなかできないことが実感として感じる事ができてとてもよかった。

なんと言っても、企画した後の達成感はなんともいえませんでした。自分自身の成長としては、はじめは、ほとんど子ども達と触れ合うことが精一杯でしたが、だんだん周りを見る余裕も出てきて、いろいろな人と関ることができたことである。

#### 4. 活動を通して見えてきた地域課題や社会課題

活動を通して、一番思ったことが、社会資源の少なさです。もともとないのはわかっていたのですが、ちゃれっこクラブではほとんど毎日海で過ごしていたので、もう少し周りになにか子ども達の好きそうなところがあればいいのではないかと感じた。また、同時に、海で毎日楽しそうに遊んでいる姿も見ているので複雑な感じでした。

はじめは、チャレンジドは地域との関係がしっかりしていると思っていたのですが、それは、一部の方であったことがわかった。そのことは、ちゃれっこ祭りの時、地域の方はほとんど来ず知り合い同士の口コミなどで来た人が大半だったときに感じました。近所の方には宣伝などしたのですが、なかなか来てくれる人はいませんでした。

このように、まだまだ、チャレンジドの活動は知名度が薄く、地域の方の理解も十分でないことがわかった。

#### 5. 一年を通して感じたこと

私は、4月の時、チャレンジドで今回のような活動ができるとは思わなかった。チャレンジドのスタッフは、私たちの考えたことを出来るだけ尊重してくれて、企画から運営まで私たちに任せてくれて、「ダメダメ」ではなく、「良いね・いいね」といって、私たちが活動しやすいようにしてくれたおかげで、企画するという楽しさを教えてもらうことができた。なぜなら、私は、今回の活動で中心になって企画、活動をさせてもらえたからである。

また、同じ活動先の仲間たちと色々なことを話し合っ、どのような活動をして、どのように活動先の人と話を進めていくのかななどをグループで話して、中心になる人は誰よりも努力してうまく話を進めていかないといけない事も実感した。

最後は、ゼミの代表として、大講義室で発表もして、貴重な体験もできた。

これらのことにより私は、グループの中心となって活動を進めていき方、企画する時に意識した方がいいことなどを実感として捉える事ができて、今後に生かせるのではないかと考えた。企画力、まとめ方、伝えることのむずかしさも自分の中で、整理できたと思った。

#### 6. 終わりに

本当に夏、チャレンジドには、色々な事をさせてもらい、企画力や障害のある人とのコミュニケーションのとり方など勉強になり、自分自身もこれからの活動の糧になるいい体験ができたのではないかと思います。